

## 成長産業

■問い合わせ先 成長産業推進課 TEL 0552-234-565

山梨県の主力産業である機械電子産業の企業は、産業用ロボットや半導体の製造を支える高度な技術を持っています。これらの企業が培ってきた技術を生かし、今後成長が期待される医療機器関連産業や水素・燃料電池関連産業、航空宇宙防衛関連産業への進出を支援しています。

安定した成長が見込まれる産業分野へ進出する企業が増え、それらの企業が県内に集積することで、山梨は経済が継続して発展する地域となります。

### 医療機器

高度な技術を持つものづくり企業に、医療機器関連分野への進出を促し、県内一帯に集積させる「メディカル・デバイス・コリドー構想」の実現を目指しています。

メディカル・デバイス・コリドー推進センターを拠点に、法規制への対応、資金調達、販路拡大など、企業に寄り添った息の長い支援を行っています。医学部を擁する山梨大学とも連携し、本県の医療機器関連産業をけん引する技術者を育成しています。

令和5年11月からは、半導体受託製造（ファウンドリー）の医療機器版で、医療機器製造の受託拠点を形成する「全県ファウンドリー化」を進めています。また、世界最大の市場規模を誇る米国への進出も見据え、日米企業による交流会を実施して連携を深めています。

国内外に広がる市場の成長力を着実に取り込み、県内企業の収益拡大を図るとともに、先進的な医療機器の製造を担うことで、医療の質の向上にも貢献していきます。



半導体事業で培った技術を活用して医療機器関連分野へ進出した企業

相談件数  
令和2年度 366件  
令和6年度末 897件  
2.4倍

医療機器分野  
進出企業数  
令和元年度末 71社  
令和7年9月末 200社  
2.8倍

### TOPICS

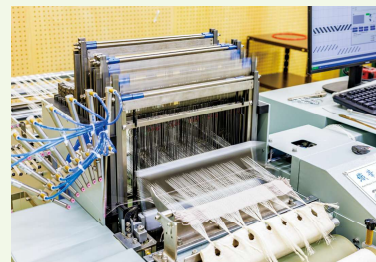
#### 県内企業のモノづくりを強力にバックアップ

産業技術センターは、中小企業の技術的課題の解決や新技術・新製品開発などを支援しています。甲府技術支援センターでは令和4年6月に、富士技術支援センターでは令和7年5月に、それぞれイノベーション支援棟を整備して支援体制をさらに強化しました。

令和7年に整備したイノベーション支援棟には、繊維試作やデザインシミュレーション、X線CT検査、精密加工などを行う先端機器を導入し、高度化・複雑化する企業ニーズに対応できる環境を整えました。

地域に根付く繊維・機械電子産業の競争力をより一層高めるとともに、医療機器関連分野など成長産業に挑戦する企業も力強く後押ししていきます。

■問い合わせ先  
甲府技術支援センター TEL 055-243-6111  
富士技術支援センター TEL 0555-22-2100



新たに導入されたサンプル織機  
工場用織機の約10分の1の規模で試作品をつくらることができる

## 水素

■問い合わせ先  
(P2Gシステム)  
新エネルギーシステム  
推進課  
TEL 055-234-5268  
(企業立地)  
成長産業推進課  
TEL 055-223-1472

再生可能エネルギー由来の電力により水素を製造するパワー・ツー・ガス（P2G）システムの開発を民間企業と共に進めています。山梨発の水素関連技術の活用は国内で着実に広がり、本県は水素分野のトップランナーとして前進を続けています。

世界的な脱炭素化の流れの中、水素・燃料電池関連産業は今後も安定した成長が期待でき、企業の集積を進めることで県内経済をけん引する基幹産業化を目指しています。

### やまなしモデル P2G システム 導入進む

「やまなしモデル P2G システム」は、高効率の電解質膜を用いた装置を採用し、小型でシンプルな構成でありながら、接続により大容量化にも対応できることが特徴です。県はこの P2G システムを積極的に展開しています。

令和7年10月には、北杜市と東京都大田区でグリーン水素製造拠点が完成しました。

北杜市の「グリーン水素パーク - 白州 -」に設置された施設\*は国内最大のグリーン水素製造拠点で、製造した水素は隣接するサントリー天然水 南アルプス白州工場のボイラー燃料として活用されます。大田区の施設は東京都内で初めてのグリーン水素製造拠点で、狭小地の多い都心部における水素の地産地消のモデルケースとして、今後の発展が期待されます。

\*新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業



グリーン水素パーク - 白州 - に設置された施設(左)と内部の水素発生装置(右)

### 水素関連機器の量産工場が立地

水素発生装置を製造するカナデピア株式会社（大阪市）が都留市に工場を建設することが決まりました。この工場では、水を電気分解して水素を製造する工程で中核となる「水電解スタック」と呼ばれる機器を製造します。

全国を先導して水素の研究開発を進めてきた本県に、「量産」という新たな要素が加わることで、これまでの「実証」から「実装」への移行が加速します。

県内企業にとっても、部材供給や周辺機器の組み立て、メンテナンスなど、受注機会の拡大が見込まれます。工場の立地を契機に、県内企業の成長を後押しし、水素関連産業の振興と経済基盤の強化につながっていきます。

